大阪公立大学 Osaka Metropolitan University 学術情報リポジトリ

女性学研究センター年次報告（2010年度）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-01-19 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊田, 久美子, 田間, 泰子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/12478

女性学研究センター年次報告・2010年度

１．運営体制

所　　長　萩原弘子（人間社会学研究科長）
主　　任　伊田久美子
副　主　任　田間泰子
共同研究員　青木賜鶴子（言語文化学科）
浅井美智子・酒井隆史・福田珠己・村田京子・森岡正博・
渡辺博明（人間科学科）
東優子・山中京子（社会福祉学科）
熊安貴美江（総合教育研究機構）
学外研究員　足立眞理子（お茶の水女子大学）、木村涼子（大阪大学）、
古久保さくら（大阪市立大学）
運 営 委 員　（所長・主任・副主任のほか）
ケイン・ケビン（言語文化学科）、秋庭裕（人間科学科）、
児島亜紀子（社会福祉学科）
事 務 職 員　伊藤ゆきこ

２．授業

・大学院科目（人間社会学研究科）

「学際現代人間社会論演習Ⅰ」「同Ⅱ」（半期各２単位。伊田久美子・田間泰子・森岡正博）
「ジェンダー特論１Ａ」「同１Ｂ」（半期各２単位。伊田久美子）
「同２Ａ」「同２Ｂ」（半期各２単位。田間泰子）
「現代人間社会特殊講義」（半期２単位。木村涼子）

・専門科目（学部科目）

「ジェンダーと社会」（半期２単位。田間泰子）
「ジェンダーとスポーツ」（半期２単位。熊安貴美江）
「ジェンダーと社会思想」（半期２単位。浅井美智子）

「ジェンダーと教育」（半期２単位。堀内真由美）

「ジェンダー論演習Ａ」「同Ｂ」（半期各２単位。伊田久美子･田間泰子）

「ジェンダー論入門」(後期２単位。浅井美智子･伊田久美子･田間泰子）

・教養科目（機構提供科目）

「ジェンダー論への招待」（前期２単位。伊田久美子・山中京子・森岡正博・渡辺博明・村田京子・熊安貴美江）

３．女性学連続講演会・連続セミナー（以下は講演会のタイトル）

第15期『〈越境〉とジェンダー：グローバル化と女性問題』

（７月３日～７月31日）

第１回　伊田久美子「70年代フェミニズムのグローバルな展開」

第２回　嘉本伊都子「国際結婚にみる越境とジェンダー」

第３回　吉田　容子「人身売買の現状と政策的取り組み」

第４回「〈越境〉へのチャレンジ」

奥野　武俊「ジェンダーの壁を越える大阪府立大学のチャレンジ」

稲葉　カヨ「女性研究者支援の現在：京都大学の取り組み」

第５回「世界女性会議・北京から15年 ～女たちは今…～」

原　ひろ子「15年間の国際的進展と課題」

竹信三恵子「ジェンダー平等の達成と課題 ～国内を中心に～」

４．女性学研究コロキウム

第１回:「マニラ首都圏のスラムにおける女性住民の諸実践―移動･就労･住民組織―」（10月30日。本誌掲載）

発表者：太田麻希子（日本学術振興会特別研究員PD・大阪府立大学）

第２回：「大阪府男女共同参画予算のジェンダー分析の試み」

（11月20日。本誌掲載）

発　表　者：人見章子（日本フェミニスト経済学会）

コメンテーター：只友景士（滋賀大学経済学部准教授）

第３回：「文学とジェンダー　フランス文学における『宿命の女』像」（12月11日）

「バルザックの作品における「宿命の女」像の変遷―『砂漠の情熱』から『従妹ベット』まで」（本誌掲載）

発表者：村田京子（本研究センター研究員）

「ゾラの『ナナ』を読む―近代ブルジョワ社会における「宿命の女」」

発表者：吉田典子（神戸大学教授）

５．国際交流事業

協定校である韓国梨花女子大学梨花人文科学院やアジア女性学研究センターとの交流および以前からの課題である日韓女性政策比較研究の準備や打ち合わせのため、12月５日～７日にソウルの梨花女子大学、国家人権委員会、韓国女性政策研究院を訪問した。また国会で女性政策担当立法審議官と会談した。参加者は伊田、田間、熊安、木村（学外研究員、大阪大学）、通訳として梁京姫さん（大阪市立大学）にご同行いただいた。

６．男女共同参画事業

大藪順子　写真展＆講演会

「立ち上がる選択　被害者から学ぶ性暴力の実態と被害後の生き方」

写真展（６月15、16、17日）　　講演会（６月15日）

後援：財団法人大阪府男女共同参画推進財団

協力：大阪府立大学学術情報センター

７．図書・文献資料の収集

例年どおり、外国語文献資料ならびに新刊邦語文献を中心に収集した。諸雑誌の購読も継続している。

８．その他

文部科学省科学技術振興調整費による女性研究者支援事業の申請に、

副主任の田間泰子が中心になって取り組み、振興調整費を獲得した。女性学研究センターも2010年度から3年間の女性研究者支援センターの活動に参加協力することとなった。田間が女性研究者支援センター長に就任し、伊田が運営委員として参加している。

堺市の男女共同参画意識実態調査を受託し、調査の立案、実施、集計、分析、報告を実施した。

＊　＊　＊

センターはおかげさまで今年度もジェンダー関連授業や講演会、コロキウムなど様々な事業を無事に終了しました。

今年の男女共同参画事業は、ジェンダー系大学院生のみなさんが中心になって、大藪順子さんの写真展と講演会を企画、実施しました。とくに写真展のような展示イベントは女性学研究センターでは初めての試みでしたが、学術情報センターほか学内の暖かいご理解とご支援により、悪天候にもかかわらず、多くの参加者にお出でいただき、無事に終了できました。ご協力いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

第15期を迎えた女性学連続講演会・連続セミナーのテーマは「越境」でした。国際的な女性問題、女性運動の展開に加えて、本学も取り組むことになった女性研究者支援事業についての報告も行いました。セミナーでは協定校トリノ大学の支援事業の紹介も行い、ソウルを訪問して梨花女子大学との交流も進め、来年度以降の新たな取り組みを検討しています。

大阪府立大学は理系に特化する大学再編により、2012年度から大幅な改組が行われる予定ですが、女性学研究センターはそれに先立ち2011年度から全学組織となり、新たに立ち上げられる地域連携研究機構に所属することになります。専任研究員5名、兼任研究員4名、それに従来通り共同研究員、学外研究員にご参加いただくことになり、人員は大幅に増加します。それに伴い、センター事業もいっそうの充実をめざして新たな展開を検討しています。今後ともセンターの歩みにご同伴くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。　（伊田久美子、田間泰子）